



参加者 わたしは、グループホームで仲間と生活していて、自転車通場に通勤しています。障害がある人が自立を目指して仲間と生活できるグループホームが増えてほしいと思っています。

参加者 わたしは、発達障害と難病を持っていますが、家族や職場の皆さんの支援を受けながら仕事をしています。働くことが楽しいです。通勤に移動支援を使えるようになればと思っています。また、障害のある人が、働く自信を持つための実習の場があればと思っています。

参加者 わたしは、特別支援

援学校を卒業した後、働きたいです。**参加者（支援者）** 知的障害や発達障害がある人の親の会や支援団体などで構成する「手をつなぐ育成会」では障害がある人を支援しています。「住み続けたい、住んでみたい、誇りのある津山」を実現するために、障害者の自立と社会参加が必要だと思っています。障害のある人が、できることを一生懸命することで働く意欲が湧き、自分が頼りにされていると感じるのが大切だと思っています。

また、津山圏域には障害がある人の働く場が少ないと感じます。市職員などとして受け入れてほしいです。さらに津山市を障害者全体の特区にすることで、移動支援や雇用などの問題も解決することができると聞いたので、障害者に優しいまちづくりに向け、提案したいです。

市長 皆さんの頑張る様子に胸がいっぱいになりました。特区や移動支援、市役所での障害者雇用のことは、研究していきたいと思っています。グループホームは、障害者の地域移行を目指す上で、増えてほしいと思っています。

これから、社会の中で障害がある皆さんの居場所や、必要とされているという気持ちを持てるまちをつくりたいですね。



参加者 古い家の蔵などを壊す際、保管されている歴史的価値のあるものを後世に残すことが必要です。そこで、家に代々伝わる古文書やそのほかの文書、食器類などの価値を把握し保管するシステムがあれば、大切な歴史遺産を保存することができると思っています。古い物を捨てる前に、市の専門家チームに保管するかどうか判断していただき、津山の宝として残すことができないかと思っています。

市長 歴史的な価値の高いものを後世に残すことは大切です。現在『津山市史』を編纂していますので「古いものがあつたら、まずは郷土博物館にご相談ください」と広報などと呼び掛けできればと

思っています。現在でも一報を受けると、郷土博物館などの職員が現地に外向き、古文書や食器類など、保管が必要かどうかを確認しています。例えば、古文書や学校のアルバム、名簿、古写真はすべていただき、和書漢籍類や教科書類、食器類、農機具などは重複しない範囲でいただいています。そして、丁寧な取り扱いが必要なものは収蔵庫へ、普通の状態で大丈夫なものは倉庫へと、それぞれ判断して保管しています。

参加者 市民の皆さんが古文書を読み、津山市の報告書として出版できると良いですね。また、収容したものを貸し出して、展示したり、食器などをお店で活用したりできれば良いと思います。

市長 市民の皆さんのご協力による出版は、今後、検討すべき課題だと思います。資料として郷土博物館にいただいたものは、市民の皆さんに見ていただきたいのですが、保存や管理を考えると貸し出しは難しいです。また、古い食器をお店などに貸し出すことも難しいですが、郷土博物館への収蔵とは別に、お店などで使える仕組みができると良いですね。今回、皆さんが歴史遺産を保存し、次世代に継承しようと日々努力されていることがよく分かりました。今後、皆さんからも知恵をお借りして文化財を保存していきたいですね。そして、さらに、文化財候補を掘り起こす取り組みができればと思っています。

第21回
とき 1月6日(水)
テーマ 障害者の自立と社会参加

参加者
松橋 智史さん (川崎)
二木 正義さん (靱保)
武岡 大貴さん (小原)
日下 功さん (川崎)
荒井 幸治さん (野介代)
小田 慶子さん (川崎)

市民と市長のふれあいトークを開催しました

秘書広報室 ☎32・2029

第22回
とき 1月13日(水)
テーマ 文化財保護について

参加者
玉置 明正さん (堺町)
末澤 敏男さん (河辺)
實成 喜久治さん (中北下)
橋本 惣司さん (林田)
藤木 靖史さん (南新座)

参加者 古い家の蔵などを壊す際、保管されている歴史的価値のあるものを後世に残すことが必要です。そこで、家に代々伝わる古文書やそのほかの文書、食器類などの価値を把握し保管するシステムがあれば、大切な歴史遺産を保存することができると思っています。古い物を捨てる前に、市の専門家チームに保管するかどうか判断していただき、津山の宝として残すことができないかと思っています。

思っています。現在でも一報を受けると、郷土博物館などの職員が現地に外向き、古文書や食器類など、保管が必要かどうかを確認しています。例えば、古文書や学校のアルバム、名簿、古写真はすべていただき、和書漢籍類や教科書類、食器類、農機具などは重複しない範囲でいただいています。そして、丁寧な取り扱いが必要なものは収蔵庫へ、普通の状態で大丈夫なものは倉庫へと、それぞれ判断して保管しています。

参加者 市民の皆さんが古文書を読み、津山市の報告書として出版できると良いですね。また、収容したものを貸し出して、展示したり、食器などをお店で活用したりできれば良いと思います。

市長 市民の皆さんのご協力による出版は、今後、検討すべき課題だと思います。資料として郷土博物館にいただいたものは、市民の皆さんに見ていただきたいのですが、保存や管理を考えると貸し出しは難しいです。また、古い食器をお店などに貸し出すことも難しいですが、郷土博物館への収蔵とは別に、お店などで使える仕組みができると良いですね。今回、皆さんが歴史遺産を保存し、次世代に継承しようと日々努力されていることがよく分かりました。今後、皆さんからも知恵をお借りして文化財を保存していきたいですね。そして、さらに、文化財候補を掘り起こす取り組みができればと思っています。

あなたの子育て 応援します！ 津山ファミリー・サポート・センター

〒431-8753 津山ファミリー・サポート・センター (アルネ・津山5階、津山男女共同参画センター「さん・さん」内) ☎31-8753

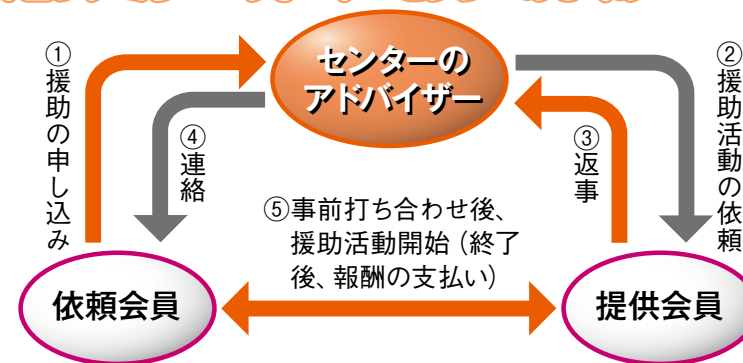
津山ファミリー・サポート・センター (通称：ファミ・サポ) は、市内に住む「子育て中の家庭 (= 依頼会員)」を、「地域の会員 (= 提供会員)」が寄り添い支えていこうという有償のボランティア組織です。

子育てを手伝ってほしい人、または子育てを手伝いたい人は、ファミ・サポまでお気軽にご連絡ください。

開館日・時間 月・水・木・金曜日午前10時～午後7時、土・日曜日午前10時～午後6時

休館日 火曜日、祝日、年末年始

津山ファミリー・サポート・センターのしくみ



料金表

料金 (活動報酬)	1時間 まで	以降30 分ごと
平日 (7:00～19:00)	500円	250円
早朝・夜間	700円	350円
土日・祝日・ 年末年始		
軽度の病児		

サポートの紹介(例)

提供会員・柳田和子さん (上河原) は、**依頼会員・Iさん** が出産を控えて安静が必要なため、Iさんの子どもたちを保育園に迎えに行き、自宅まで送り届けています。

柳田和子さんの夫・秀隆さんも提供会員として一緒に送り迎えを手伝っています。



提供会員・柳田和子さんのコメント(感想)

サポートをしていると、子どもたちのおしゃべりやしぐさに、わたしたち夫婦も自然と笑みがこぼれ、心がほっとします。子どもの笑顔が、わたしたちの家庭を明るくしてくれています。

依頼会員・Iさんのコメント(感想)

普段、人見知りをする子どもたちですが、優しい柳田さんご夫妻にはとてもなついていて、迎えの時に抱っこしてもらえることを楽しみにしているようです。仕事をしながら子育てをしているので何かと大変なことも多いですが、サポートしてもらえる人がいて、とても助かっています。

依頼会員・提供会員 募集中！

子育てを手伝ってほしいなどの悩みを抱えている人や、子育ての経験を生かして子どもと関わりたいなどの希望を持つ人を募集しています。お気軽にご相談ください。

依頼会員 = 子育てを手伝ってほしい人

- ☐ 仕事の帰りが遅くなり、保育園や児童クラブの迎えに間に合わないことがある
- ☐ 通院などの用事がある時、小さな子どもを預かってほしい
- ☐ 近所に親戚や知り合いなど、頼れる人がいない など

提供会員 = 子育てを応援したい人

- ☐ 子育ての経験を生かしたい
- ☐ 子育て支援に関心がある
- ☐ 子どもが好き
- ☐ 空いた時間にできることをしたい など